

平成30年度下水道事業決算状況

① 下水道事業特別会計

那珂市の下水道事業の全体計画は、面積3,257.8ha、人口41,800人で、その内、面積1,710.6ha、人口31,500人で事業認可を取得し事業を進めています。認可区域内の供用開始面積は1,361ha、供用開始人口は29,155人で、行政人口54,772人に対して供用開始率は53.23%となっています。また、供用開始区域内における接続済人口は28,034人で、供用開始人口に対し96.16%となっています。今後も市民の生活環境を改善し、市内の河川などの水質を保全していくために、汚水処理に要する経費と効果を勘案したうえで、未計画地区を含めた今後の整備の方向性について検討を進めております。

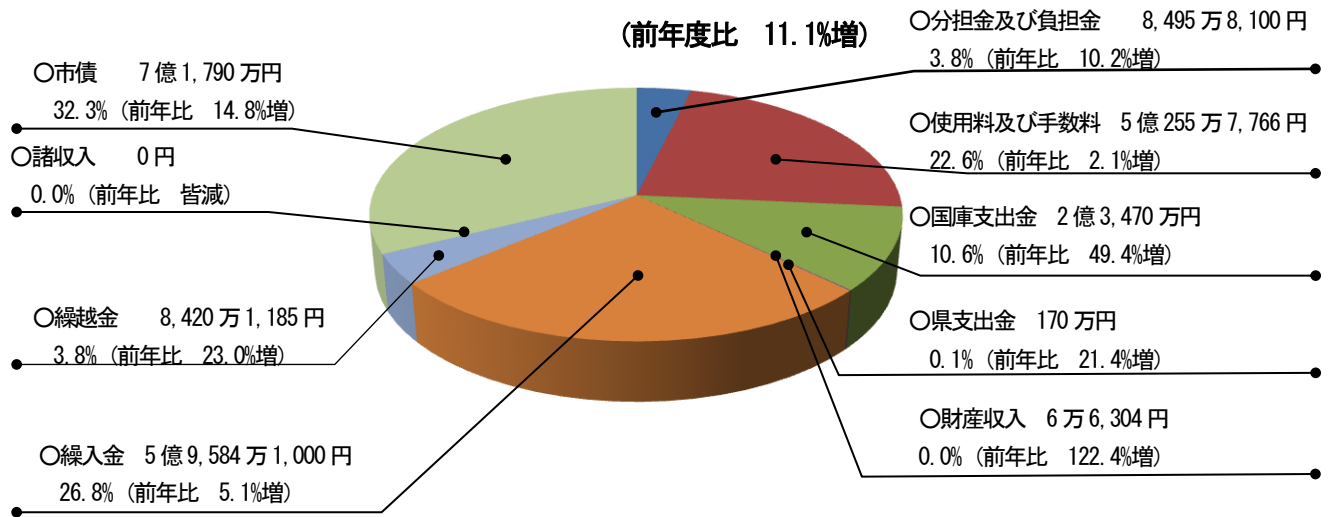
◆ 歳入 22億2,192万4,355円 (単位：円)

費目	平成30年度	割合 (%)	平成29年度	増減
分担金及び負担金	84,958,100	3.8%	77,098,650	10.2%
使用料及び手数料	502,557,766	22.6%	492,392,588	2.1%
国庫支出金	234,700,000	10.6%	157,050,000	49.4%
県支出金	1,700,000	0.1%	1,400,000	21.4%
財産収入	66,304	0.0%	29,816	122.4%
繰入金	595,841,000	26.8%	567,182,000	5.1%
繰越金	84,201,185	3.8%	68,453,678	23.0%
諸収入	0	0.0%	11,362,570	△100.0%
市債	717,900,000	32.3%	625,400,000	14.8%
合計	2,221,924,355	100.0%	2,000,369,302	11.1%

歳入内訳は、下水道事業の収入源である負担金、使用料及び手数料収入の割合が26.4%である一方で、適正な使用料を徴収してもなお不足する経費等に充てるための一般会計繰入金等の繰入金が26.8%、将来の償還が必要な建設費用等に充てる市債が32.3%を占めています。

【歳入】 22億2,192万4,355円

(前年度比 11.1%増)



- 分担金及び負担金 … 公共下水道の受益を受ける方から受益面積に応じて負担金を頂いています
- 使用料及び手数料 … 下水道使用者から汚水の処理に係る費用を汚水の排出量により定めた料金を頂いています
- 国庫支出金 … 国補助対象事業費の50%が補助金として国より支出されています
- 県支出金 … 市単独事業費に対して、市の財政状況による割合で県より支出されています
- 財産収入 … 下水道基金積立金の利子等です
- 繰入金 … 適正な使用料としても不足する経費等に対する一般会計繰入金のほか、基金からの繰入金です
- 繰越金 … 前年度の収支差による繰越金です
- 諸収入 … 消費税還付金等です
- 市債 … 市で支出する事業費の一部を借入れしています

◆歳出 21億3,573万6,809円 (単位：円)

費目	平成30年度	割合 (%)	平成29年度	増減
総務費	347,360,718	16.3%	329,662,795	5.4%
下水道建設費	902,135,181	42.2%	666,469,715	35.4%
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	886,240,910	41.5%	920,035,607	△ 3.7%
予備費	0	0.0%	0	0.0%
合計	2,135,736,809	100.0%	1,916,168,117	11.5%

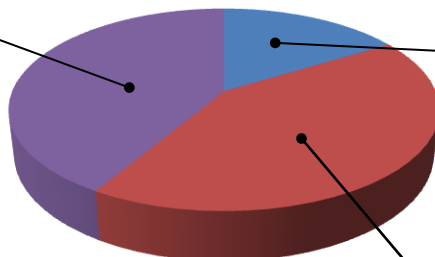
歳出内訳は、下水道施設維持管理費等の下水道総務費が16.3%である一方で、下水道施設の新設に要する工事費等の下水道建設費が42.2%、建設費用のために借入れた市債を償還するための公債費が41.5%を占めています。

【歳出】21億3,573万6,809円

(前年度比 11.5%増)

○公債費 8億8,624万910円
41.5% (前年比 3.7%減)

○総務費 3億4,736万718円
16.3% (前年比 5.4%増)



○下水道建設費 9億213万5,181円
42.2% (前年比 35.4%増)

- 総務費 … 職員人件費、事務費、下水道施設維持管理費等に要する費用です
- 下水道建設費 … 下水道施設の新設に要する委託費、工事費等です
- 災害復旧費 … 災害により被災した下水道施設の復旧に要する委託費、工事費等です
- 公債費 … 建設費用のために借り入れた市債の償還に要する費用です
- 予備費 … 不測の事態に対応するために要する費用です

●過去5年間の事業費の推移

◆歳入

(単位：円)

費目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
分担金及び負担金	67,272,400	96,950,430	70,541,150	77,098,650	84,958,100
使用料及び手数料	453,098,108	477,085,013	484,790,351	492,392,588	502,557,766
国庫支出金	293,650,000	194,540,000	201,410,000	157,050,000	234,700,000
県支出金	2,000,000	1,300,000	1,000,000	1,400,000	1,700,000
財産収入	44,980	63,306	75,775	29,816	66,304
繰入金	967,588,000	977,160,000	505,101,000	567,182,000	595,841,000
繰越金	65,547,494	97,359,082	74,368,059	68,453,678	84,201,185
諸収入	29,068,220	2,672,828	0	11,362,570	0
市債	797,500,000	632,300,000	714,800,000	625,400,000	717,900,000
合計	2,675,769,202	2,479,430,659	2,052,086,335	2,000,369,302	2,221,924,355

◆歳出

歳出	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総務費	347,546,271	314,743,286	293,685,624	329,662,795	347,360,718
下水道建設費	971,809,313	689,945,001	798,301,067	666,469,715	902,135,181
災害復旧費	393,037,100	498,055,450	-	-	0
公債費	866,017,436	902,318,863	891,645,966	920,035,607	886,240,910
予備費	0	0	0	0	0
合計	2,578,410,120	2,405,062,600	1,983,632,657	1,916,168,117	2,135,736,809

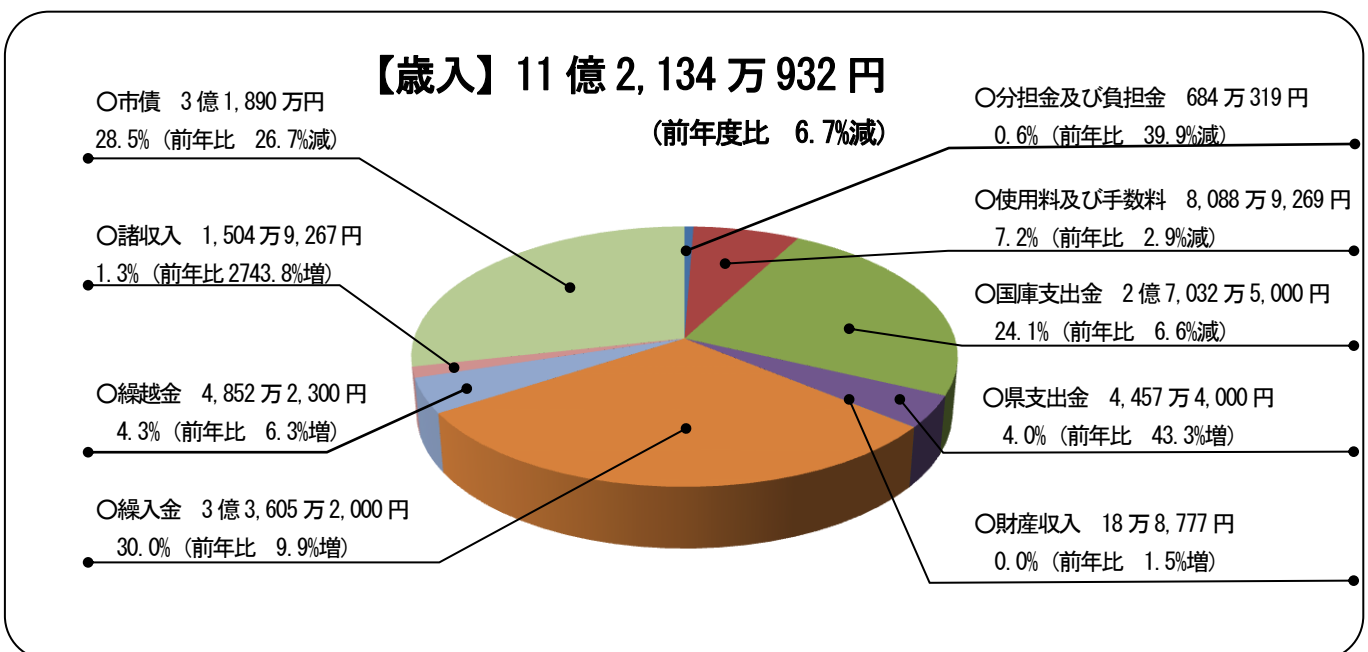
②農業集落排水整備事業特別会計

那珂市の農業集落排水事業は、戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣、酒出地区の7地区を計画地区とし、すでに戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣地区の6地区で供用開始しています。酒出地区については平成26年1月に事業採択され、平成27年度より管路工事に着手しており、令和2年度に供用開始する計画です。酒出地区を除いた、6地区全体の計画人口は、9,222人で、供用開始人口は、6,834人になり、行政人口54,772人に対し供用開始率は12.48%となっています。供用開始区域内における接続済人口は6,169人で、供用開始人口に対し90.27%となっています。酒出地区が完了すると農業集落排水事業計画地区の全てが完了します。

◆歳入 11億2,134万932円 (単位：円)

費目	平成30年度	割合 (%)	平成29年度	増減
分担金及び負担金	6,840,319	0.6%	11,381,385	△ 39.9%
使用料及び手数料	80,889,269	7.2%	83,264,298	△ 2.9%
国庫支出金	270,325,000	24.1%	289,500,000	△ 6.6%
県支出金	44,574,000	4.0%	31,101,000	43.3%
財産収入	188,777	0.0%	186,011	1.5%
繰入金	336,052,000	30.0%	305,750,000	9.9%
繰越金	48,522,300	4.3%	45,657,393	6.3%
諸収入	15,049,267	1.3%	529,200	2743.8%
市債	318,900,000	28.5%	434,900,000	△ 26.7%
合計	1,121,340,932	100.0%	1,202,269,287	△ 6.7%

歳入内訳は、農業集落排水事業の収入源である使用料、分担金収入の割合が7.8%である一方で、適正な使用料を徴収してもなお不足する経費等に充てるための一般会計繰入金等の繰入金が30.0%、将来の償還が必要な建設費用等に充てる市債が28.5%を占めています。



- 分担金及び負担金 … 農業集落排水の受益を受ける方から地区により定めた分担金を頂いています
- 使用料及び手数料 … 農業集落排水使用者から汚水の処理に係る費用を汚水の排出量により定めた料金を頂いています
- 国庫支出金 … 国補助対象事業費の50%が補助金として国より支出されています
- 県支出金 … 国補助対象事業費の10%が県より支出されています
- 財産収入 … 集落排水基金積立金の利子等です
- 繰入金 … 適正な使用料としても不足する経費等に対する一般会計繰入金のほか、基金からの繰入金です
- 繰越金 … 前年度の収支差による繰越金です
- 諸収入 … 消費税還付金等です
- 市債 … 市で支出する事業費の一部を借入れしています

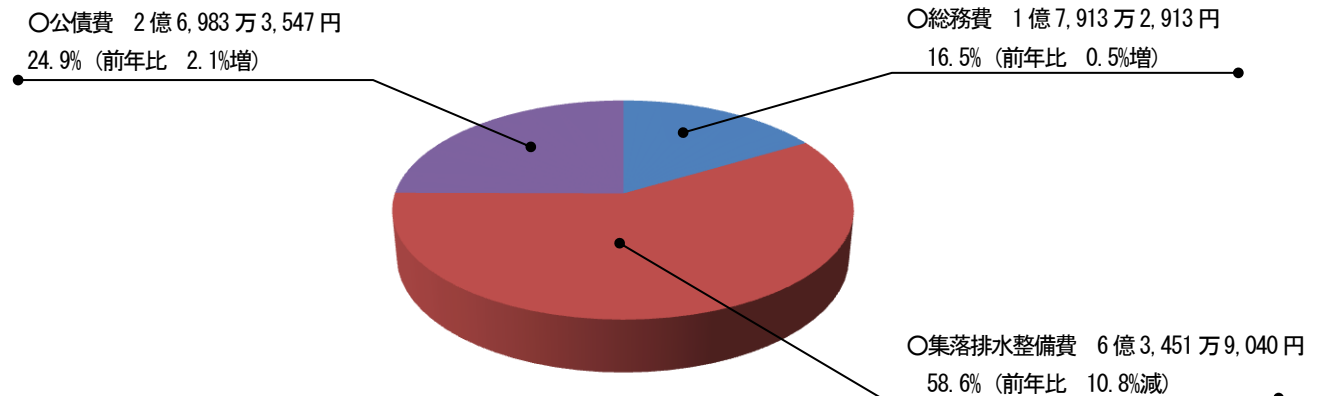
◆歳出 10億8,348万5,500円 (単位：円)

費目	平成30年度	割合 (%)	平成29年度	増減
総務費	179,132,913	16.5%	178,274,406	0.5%
集落排水整備費	634,519,040	58.6%	711,076,997	△ 10.8%
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	269,833,547	24.9%	264,395,584	2.1%
予備費	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,083,485,500	100.0%	1,153,746,987	△ 6.1%

歳出内訳は、集落排水処理施設維持管理費等の総務費が16.5%を占めているほか、集落排水施設の新設に要する工事費等の集落排水整備費が58.6%、建設費用のために借入れた市債を償還するための公債費が24.9%を占めています。

【歳出】10億8,348万5,500円

(前年度比 6.1%減)



- 総務費 … 職員人件費、事務費、集落排水処理施設維持管理費等に要する費用です
- 集落排水整備費 … 集落排水施設の新設に要する委託費、工事費等です
- 災害復旧費 … 災害により被災した集落排水施設の復旧に要する委託費、工事費等です
- 公債費 … 建設費用のために借り入れた市債の償還に要する費用です
- 予備費 … 不測の事態に対応するために要する費用です

●過去5年間の事業費の推移

(単位：円)

◆歳入

費目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
分担金及び負担金	34,435,000	21,642,000	13,440,000	11,381,385	6,840,319
使用料及び手数料	69,589,096	74,312,272	76,235,440	83,264,298	80,889,269
国庫支出金	219,350,000	150,000,000	96,500,000	289,500,000	270,325,000
県支出金	31,765,000	35,639,000	31,614,000	31,101,000	44,574,000
財産収入	127,075	150,176	185,348	186,011	188,777
繰入金	232,975,000	288,418,000	299,363,000	305,750,000	336,052,000
繰越金	77,979,218	51,064,867	59,399,127	45,657,393	48,522,300
諸収入	3,727,406	12,747,801	6,683,631	529,200	15,049,267
市債	350,900,000	378,500,000	211,100,000	434,900,000	318,900,000
合計	1,020,847,795	1,012,474,116	794,520,546	1,202,269,287	1,121,340,932

◆歳出

費目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総務費	147,908,871	204,090,900	207,357,547	178,274,406	179,132,913
集落排水整備費	585,678,776	509,403,893	297,653,025	711,076,997	634,519,040
災害復旧費	7,885,200	-	-	-	0
公債費	228,310,081	239,580,196	243,852,581	264,395,584	269,833,547
予備費	0	0	0	0	0
合計	969,782,928	953,074,989	748,863,153	1,153,746,987	1,083,485,500